

## 2022年度学校評価【西南学院中学校・高等学校】

### 建学の精神および学校法人西南学院の使命

学校法人西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探究および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人格を育てることを使命とする。

建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉は、Lで始まる4つの英単語を用いて表され、本校では、チャペル講話をはじめ様々な教育活動においてこの4つのLを取り入れて具体的に実践している。

- ・L i f e（生命）：すべての人命を積極的に尊重すること
- ・L o v e（聖愛）：真の神を礼拝し、他者に奉仕すること
- ・L i g h t（光明）：知なきところに真理の光を掲げること
- ・L i b e r t y（自由）：責任ある自由をもって行動すること

### 学校法人西南学院のビジョン

- ①人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ②教育研究：確かな教育力と新たな知と価値の創造
- ③国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④地域貢献：進化する福岡とともに歩む学校としての自覚と協働
- ⑤経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

### 西南学院中学校・高等学校における教育の目標

- ①かけがえのない“L i f e（いのち）”を大切にする
- ②“L o v e（聖愛）”の実践を通して、隣人に仕える
- ③“L i g h t（世の光）”として、平和構築に貢献する
- ④真理を探究し、真の“L i b e r t y（自由）”を得る

### 西南学院中学校・高等学校における学校評価の進め方と2022年度の重点目標

建学の精神を堅守しつつ、生徒一人一人の個性と適性を尊重した教育を目指す。また、国家、地域、年齢、言語等を超えた、多様で普遍的な価値観に対応できる平和を実現する人材の育成を継続するとともに、ポストコロナ時代における学びのニューノーマルを想定し、将来に向けた健全な財政計画に基づいた教育体制の点検と整備を進めることを目指す。

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
人間育成 ①平和をつくりだす人間教育 ②隣人愛の理解と実践 ③奉仕の精神を持って社会を先導する人間の育成	1	「平和をつくりだす人間教育」「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映と浸透	1	中・高	チャペルやミッション・ウィークを活用した「いのち」を大切にする教育や「人権教育」の充実、また、「いじめ」防止に向けた教育プログラムの充実	人権・「同和」学習の継続的な実施と充実	チャペルやミッション・ウィークを通じて、自他に与えられたいのちの尊さを深く理解する機会を設け、さらなる内容の充実を図る。また、人権・「同和」教育特設ホームルームでの講演や視聴覚教材による授業、「いじめ」アンケートの実施と振り返り等を通じて、啓発活動を継続する。	宗教部			
			2	中・高	中学3年沖繩修学旅行や韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実	平和学習の継続と充実	生徒と共に行事前学習プログラムのさらなる充実を図り、中・高生が韓国を訪問し、現地の生徒たちとの交流活動を通じた平和学習を継続する。	宗教部			
			3	中・高	生徒が主体的に企画・運営するチャペル企画やボランティア活動の充実	生徒が主体的に参加するチャペル活動や奉仕活動の実施と充実	路上生活者や生活困窮者への支援物資受付等、生徒が主体的に企画するボランティア活動を継続し、さらなる内容の充実を図る。	宗教部			
			4	中・高	地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実	外部組織との連携強化によるチャペル等の充実	従来と同様に、地域の教会の牧師や他のキリスト教学校の教員等にチャペル講師を依頼し、さらなる内容の充実を図り、他校やキリスト教事業体との協力による企画展の実施を検討する。クリスマスや震災復興支援の街頭募金、社会福祉施設訪問、キリスト教学校フェア参加、地域住民対象のコミュニティクリスマス実施等、現在の取り組みを今後も継続する。	宗教部			
	2	社会の担い手となるサーバントリーダー育成プログラムの充実	5	中・高	生徒に対するサーバントリーダー育成のための教育プログラムの充実	サーバントリーダー育成プログラムの創設・展開	校内外で実施する「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。	宗教部			
			6	中・高	モラル・ルールに対する意識の向上	社会ルールの遵守に向けた指導徹底および意識啓発プログラムの充実	生徒会による選挙公報活動や地下鉄乗車マナーアップキャンペーン活動への協力、被災地支援活動を今後も継続するとともに、地域からの意見や要望を収集するための方策についても検討する。	生徒指導部			

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
<b>教育研究</b> ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを旨とした研究機能の充実・強化	1	入試制度・生徒募集	1	中・高	中長期的展望に立った学校の将来計画の検討	社会情勢や動向に基づく適正な学校運営の実現	小学校や大学との連携も見据えたうえで適正な人員構成や学校規模を模索するとともに、中学校・高等学校の中長期計画や2022年度から策定する財政計画を通じて、本校の将来像や方向性のさらなる具現化に努める。	総務部			
			2	中・高	入試制度(中学・専願・前期・帰国生等)の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等)の検討	教育の充実に向けた入試制度の確立と実施	中学入試、高校専願入試、高校前期入試、帰国生徒入試とともに、近年の入試結果を総合的に検証する。また、従来の課題や将来的な動向を踏まえつつ、今後の入試制度全般について検討する。	総務部			
			3	高のみ	西南学院大学推薦入試制度の見直しと検討	高大接続の充実を含む西南学院大学推薦入試の実施	本学院が建学の精神を守り、同じキリスト教理念のもとで生徒・学生の継続的な一貫教育のさらなる充実を図るため、双方にとってより有効な推薦入試制度となるための方向性を模索する。	進路指導部			
	2	カリキュラム・教科教育	4	中・高	中高一貫教育体制の検証と改善	中高一貫教育の特色を活かした学校運営の確立	近年の各種入試結果を総合的に検証し、これまでの中高一貫教育体制下での課題を把握する。生徒の人的成長や学業成績等、多面的な影響を踏まえつつ、中高全体における将来計画の一環として、今後の一貫教育のあり方について検討・策定する。	教務部			
			5	中・高	教科教育の充実	生徒の学力向上と幅広い進路保障の確立	中学・高校ともに新学習指導要領に対応して編成されたカリキュラムを計画的に実践する。さらには、中学・高校の各教科において移行後の教育内容を検証し、教育内容のさらなる充実に向けた検討を行う。	教務部			
			6	中・高	ICT教育の検討	ICT教育システムの積極的な活用による生徒の主体的学習の促進	中学においては新1年生、高校においては新1年生(一般生)、教員においては新任者にタブレットを配付する。また、デジタル教科書や各種ラーニングソフト教材を導入し、生徒の主体的な学習推進と教員の校務改善を図る。また、校内PCおよび教員端末の全面入替と校務システムのクラウド化に伴う情報環境の整備、全生徒・教員へのタブレット導入完了に伴うWi-Fi環境の整備を推進する。	ICT教育委員会			

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
<b>教育研究</b> ①一人ひとりの個性を引き出す 保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを目指した研究機能の充実・強化	3	進路指導	7	中・高	キャリア教育(進路指導)体制および手法の見直しと検討	生徒の特性や希望に即したキャリア教育指導体制の確立	中学・高校ともに、現在行っている各種進路説明会や大学説明会等を継続的に実施し、その効果を検証するとともに、キャリア教育のさらなる充実に向けた企画を実際に実施してゆく。	進路指導部			
			8	高のみ	高大接続および連携の課題に対応した進路指導の充実	高大接続および連携を活用した進路指導の充実	本校と各大学の間での高大接続や高大連携の仕組みや制度について検証し、今後の進路指導における活用のあり方について検討する。また、西南学院大学との連携を通じて、中学生や高校生の主体的な進路選択を促す取り組みを拡充する。	進路指導部			
			9	高のみ	多様化する進路希望者に対する支援制度の確立	進路保障の拡充に向けた制度の確立	大学入学共通テスト導入後の受験動向について引き続き情報収集と分析を行い、生徒の個性や希望に応じた進学先を生徒・保護者ともに考える本校ならではの進路指導のあり方を考え、実践する。学校推薦型選抜や総合型選抜に対する支援も充実させる。	進路指導部			
	4	特別支援	10	中・高	特別支援体制の整備と充実	生徒の状況に応じた教育支援の確立	支援を必要とする生徒の情報を共有し、それを基にした具体的な個々の支援のための計画を立案し共有、実行して検証する場を設ける。様々な支援体制の充実に向けた校内研修を行い、関係機関との連携強化に努める。	総務部			
	5	総合的な「知」の探究	11	中・高	外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化	幅広い知識の修得による知的好奇心の醸成と精神的成長の促進	外部の優れた人材を積極的に活用し、様々な新しい見解や知見に接する機会を増やす。	宗教部			
12			中・高	現図書館の利用促進と情報・学習資料センターの機能をもつ新図書館構想の実現	生徒が自主的に利用しやすい環境の確立	実現に向けた予算は計上されていないが、中学校・高等学校の中長期計画や2022年度から策定する財政計画を通じて、実施の可否についてあらかじめ意思決定を行う。	総務部				

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
教育研究 ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを旨とした研究機能の充実・強化	6	教員の資質向上	13	中・高	研究授業の積極的展開	教員のスキルアップに向けた研究授業制度の確立	各教科を中心に、研究授業や研究発表を適宜実施して教科教育のさらなる充実を図るとともに、自主的な研究発表や勉強会への支援に向けた研修を検討し、関係機関との連携強化に努める。	教務部			
			14	中・高	研修制度の見直しと検討	教員研修制度によるスキルアップの促進	教員免許更新制の発展的解消も見据えつつ現在本校教員が受講可能な研修の実施状況を検証し、改善に向けた方策や、勤続20年目や30年目の学び直しをも見据えた新たな研修制度の創設を検討する。	総務部			
	7	教育施設の整備	15	中・高	実験室や視聴覚教室、課外活動施設、職員室等の校内施設・設備の充実	設備の充実による教育内容および効果の向上	中学校・高等学校の中長期計画や2022年度から策定する財政計画を通じて、アトリウム1階の部分的改修と会議室の利用方法、人工芝の敷設を見据えたグラウンド施設整備について関係者からの意見・要望を聴取しつつ、整備計画の可否についてあらためて意思決定を行い、資金の積み立て計画を検討する。	総務部 事務室			

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
国際感覚 ①グローバル社会の担い手の育成 ②異文化理解と外国語教育の充実 ③キャンパスの国際化の推進	1	グローバル社会の担い手の育成	1	中・高	多様性を認め合う共生社会の形成に向けた国際交流プログラム(海外研修・留学生受入を含む)の充実	国際交流の積極的な展開によるグローバル教育の充実	高校訪豪研修、ピース・メイキング・プログラム、インターナショナル・デイ・キャンプの実施と検証を継続するとともに、中学における海外研修プログラムおよびターム留学制度を検討するとともに、受入クラスの割当や具体的な支援体制等、海外からの留学生受入に際してのルールを策定し、校内制度としての明文化を検討する。	総務部 教務部			
			2	中・高	帰国生への対応(募集拡大、教学支援の検討)	帰国生受入制度の確立	近年の帰国生徒入試結果や入学後の状況等を総合的に検証し、多様な生徒の募集を目的とした受験資格や条件緩和のあり方について検討する。また、留学生の受け入れ再開に向けた準備、受け入れ体制の再構築を急いで行う。	総務部 教務部			
			3	高のみ	卒業後の海外大学進学への支援体制の構築	海外進学支援体制の確立	海外大学への進学を希望する生徒のニーズを把握しながら、どのような情報提供や支援ができるか、進路指導部の「海外進学サポート係」が中心となって、専門業者との連携も視野に入れながら引き続き検討する。	進路指導部			
	2	英語教育のさらなる強化と拡充	4	中・高	全生徒に対する英語力の全般的な向上	英語を活用したコミュニケーション能力の向上	オンライン英会話授業の運用状況と効果測定について、英語科を中心に検証し、必要に応じて運用計画の見直しを行う。また、生徒のさらなる語学力向上に反映させるための方策について検討する。	教務部			
			5	中・高	GTEC等の英語力の学外指標の導入	大学入試対策に合わせた英語力の向上	英語外部検定試験(GTEC)を計画的に実施し、英語科と協力しながら実施後の検証を行うとともに、入試において英語外部検定試験が利用できる大学の情報を収集し、生徒へ提供する。	教務部 進路指導部			

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
地域貢献 ①地域社会との協働 ②国際交流都市福岡への貢献 ③地域に開かれ、地域に貢献する空間づくり	1	地域における貢献活動	1	中・高	ボランティア活動やイベント等の地域貢献活動・地域福祉活動の充実	地域貢献活動の充実に向けた組織と制度の整備	校外外で実施する「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。また、本校からの出前授業や一般中学生の本校訪問、PTA学校訪問の受入等、地域住民・保護者への情報提供を目的とした活動を今後も継続し、参加者からの意見や要望を収集するための方策について検討する。	宗教部 総務部 生徒指導部			
					災害発生時の避難場所提供等の防災協力体制の充実	地域防災の充実					
			2	地域住民との連携	3	中・高	百道浜自治協議会との連携強化	連携のための組織および制度整備による地域との関係性の向上	地域との連携に向け、自治協議会関係者との情報交換や懇談、地域住民からの意見や要望を収集するための方策について検討する。	総務部	
経営基盤 ①経営体制の充実・強化 ②健全な財務基盤の確立 ③社会的責任の遂行	1	広報活動	1	中・高	中学校・高等学校全体のブランディング・広報戦略の充実・強化	学校および生徒の取り組みの積極的な社会発信による理解度・認知度の向上	2022年度に予定している学校紹介動画のリニューアルを実行する。また、2023年度に予定している学校案内冊子の全面リニューアル計画を策定する。	広報部			
					2	運営管理体制の強化					

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施計画

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案		
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価
経営基盤 ①経営体制の充実・強化 ②健全な財務基盤の確立 ③社会的責任の遂行	2	運営管理体制の強化	3	中・高	校友行政の強化・同窓会との協力関係強化	関係強化のための組織と制度の整備	学校と同窓生の連携と協力体制の強化を継続し、情報交換について、校長、副校長、教頭、事務長が中心となって、同窓会役員との協議の場を設ける。			
			4	中・高	後援会との協力関係強化(情報提供のさらなる充実、専用ホームページの検討)	関係強化のための組織と制度の整備	任意組織である後援会への加入の意思確認の必要性を確認するとともに、その方法を検討する。また後援会役員とともに今後の安定的な後援会組織の維持と運営の方法を模索し検討する。			
	3	教職員に対する健康管理の充実	5	中・高	定期健康診断に基づく保健指導の充実、メンタルヘルス等の対応強化	労働安全衛生法に基づく健康管理制度の確立と運用	教員の心身の健康状態の把握に努め、必要に応じて学校医や保健師と緊密に連携ながら対応する。職場環境の整備について現状を確認し改善点を検討する。特に長時間にわたる労働とならないように、職員室の閉鎖時間を検討する。	総務部		